

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[SNMP によるモニタ E1/T1 チャンネル 使用方法](#)

[関連情報](#)

概要

E1/T1 アクセス サーバに対する一般的な監視方法は、E1/T1 の使用量を、デバイスごと、あるいはデバイス上にある特定の DS1 チャンネルごとに、使用中のアクティブな DS0 チャンネルの数として監視することです。この文書では、この情報を SNMP を使用して取得する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。Cisco IOS® ソフトウェア リリース 12.2(15)T1 との AS5350 はテストで使用されました。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

SNMP によるモニタ E1/T1 チャンネル 使用方法

[CISCO-POP-MGMT-MIB](#) は SNMP によって監視することができるデバイスで DS0 チャンネル使用についてのこれらのオブジェクトを提供します:

- [cpmActiveDS0s](#) - 現在使用されている DS0 の数。

- [cpmDS1ActiveDS0s](#) - 特定の DS1 で、現在使用されている DS0 の数。
- [cpmActiveDS0sHighWaterMark](#) - 同時にアクティブになることができる DS0 の最大数。
- [cpmDS1ActiveDS0sHighWaterMark](#) - 特定の DS1 で同時にアクティブになることができる DS0 の最大数。

これら二つのオブジェクト:

- [cpmDS1ActiveDS0s](#)
- [cpmDS1ActiveDS0sHighWaterMark](#)

このペアと指標付けされます:

- [cpmDS1UsageSlotIndex](#)
- [cpmDS1UsagePortIndex](#)

この出力は第 7 スロットで最初の DS1 ポートの 1 アクティブな DS0 チャネルとこれを、説明するデータの例を示したものです:

```
#snmpwalk -c public 192.0.2.1 cpmActiveDS0s CISCO-POP-MGMT-MIB::cpmActiveDS0s.0 = Gauge32:
1#snmpwalk -c public 192.0.2.1 cpmDS1ActiveDS0s CISCO-POP-MGMT-MIB::cpmDS1ActiveDS0s.7.0 =
Gauge32: 1CISCO-POP-MGMT-MIB::cpmDS1ActiveDS0s.7.1 = Gauge32: 0CISCO-POP-MGMT-
MIB::cpmDS1ActiveDS0s.7.2 = Gauge32: 0CISCO-POP-MGMT-MIB::cpmDS1ActiveDS0s.7.3 = Gauge32:
0CISCO-POP-MGMT-MIB::cpmDS1ActiveDS0s.7.4 = Gauge32: 0CISCO-POP-MGMT-MIB::cpmDS1ActiveDS0s.7.5 =
Gauge32: 0CISCO-POP-MGMT-MIB::cpmDS1ActiveDS0s.7.6 = Gauge32: 0CISCO-POP-MGMT-
MIB::cpmDS1ActiveDS0s.7.7 = Gauge32: 0
```

この MIB をサポートする Cisco IOS ソフトウェア リリースおよびルータモデルを見つけるため、使用 [Cisco IOS MIB ツール](#)。この文書を記述している時点では、[AS5xxx シリーズ アクセス サーバ](#)、および [36xx と 37xx アクセス ルータ](#)では、[CISCO-POP-MGMT-MIB](#) が主として使用されています。

注36xx および 37xx シリーズで、CISCO-POP-MGMT-MIB はインストールされる[デジタル モデム ネットワーク モジュール](#)でだけサポートされます他では MIB は空です。

[使用しているルータで CISCO-POP-MGMT-MIB がサポートされていない場合は、ISDN-MIB \(ifIndex でインデックスされています \) の isdnBearerOperStatus を使用して個々の B チャネルのすべての動作ステータスを取得し、さらに active\(4\) のステータスを持つチャネルをすべてカウントすることで、現在使用されているチャネルの数を知ることができます。](#) ただし、これにはスクリプトの作成が必要です。

この出力は E1 ポートの 1 アクティブな DS0 チャネルとこれを、説明するデータの例を示したものです:

```
#snmpwalk -c public 192.0.2.1 isdnBearerOperStatus ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.263 = INTEGER:
idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.264 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.265 =
INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.266 = INTEGER: idle(1) ISDN-
MIB::isdnBearerOperStatus.267 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.268 = INTEGER:
idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.269 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.270 =
INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.271 = INTEGER: active(4) ISDN-
MIB::isdnBearerOperStatus.272 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.273 = INTEGER:
idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.274 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.275 =
INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.276 = INTEGER: idle(1) ISDN-
MIB::isdnBearerOperStatus.277 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.278 = INTEGER:
idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.279 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.280 =
INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.281 = INTEGER: idle(1) ISDN-
MIB::isdnBearerOperStatus.282 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.283 = INTEGER:
idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.284 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.285 =
INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.286 = INTEGER: idle(1) ISDN-
MIB::isdnBearerOperStatus.287 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.288 = INTEGER:
```

idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.289 = INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.290 =
INTEGER: idle(1) ISDN-MIB::isdnBearerOperStatus.291 = INTEGER: idle(1) ISDN-
MIB::isdnBearerOperStatus.292 = INTEGER: idle(1)

[関連情報](#)

- [SNMP : MIB に関する FAQ](#)
- [Cisco IOS MIB ツール](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)